多気図書館だより　　2019年10月号(No.84)

ほこっと…

TEL 0598-38-1133
http://www.town.taki.mie.jp/library/index.html

木

木が　そこに立っているのは
それは木が　空にかきつづけている
きょうの日記です

あの太陽にむかって
なん十年
なん百年
一日一ときの休みなく
生きつづけている生命のきょうの…

雨や
小鳥や
風たちがきて
一心に読むのを　きくたびに
人は　気がつきます

この一つしかない　母の星
みどりの地球が
どんなに心のかぎり
そこで　ほめたたえられているかに

人の心にも
しみじみ　しみとおってくる
地球ことばなのに
宇宙ことばかもしれない
はるかな　しらべで…

『まど・みちお詩集』
谷川俊太郎・編　　岩波書店

風が心地よい
木漏れ日の下で
お気に入りの1冊と～

シゲマツ先生が
50冊の必読書を
紹介！
でも、この解説集
じたいがとても
おもしろいのです。
やはりよく書いている人は
よく読んでいる！
読書の秋にぴったりの
案内本です!!

『読むよむ書く』　(019.9)
迷い多き君のためのブックガイド
重松 清・著　　幻戯書房

10月のカレンダー

■：休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 おはなし会
6	7	8	9	10	11 おもちゃ	12 ぽけっと
13	14	15	16	17	18 (ぽかぽか) ブックスタート	19
20	21	22	23	24	25 赤ちゃん	26 ぽけっと
27	28	29	30	31 整理日		

定例のおはなし会

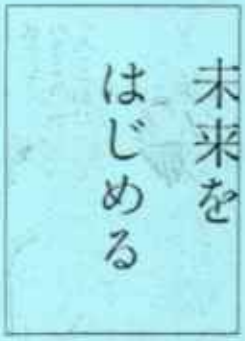
◆おはなし会(職員)
5日(土) 10:30

◆おはなしおもちゃ(ボランティア)
11日(金) 10:30

◆おはなしぽけっと(ボランティア)
12日・26日(土) 11:00

◆赤ちゃんのおはなし会(職員)
25日(金) 10:30

『 未来をはじめる 』
「人と一緒にいること」の政治学
宇野 重規・著　東京大学出版会（311）



政治を身近かなものにするためのスリロとして、中高校生向けに連続講座を行なったもの。共に暮らしていくための政治を遠いものと考えるのではなく——人と人のつながりからわかりやすく紐解いていく。

『 国境を越えたスクラム 』
ラグビー日本代表になった外国人選手たち
山川 徹・著　中央公論新社（783.4）

ラグビーW杯 日本大会が開幕した。試合が終われば ノーサイド！国を越えて、互いを尊重し合う、紳士のスポーツとも言われるラグビーが話題となったのは、4年前。ずっと疑問だったのは、日本チームには外国人選手が多いのはどうしてか？ということ——。この書で納得できた。しかし それ以上に 母国ではなく日本のために、日の丸を背負う道を選んだ彼らの思いに感動した。国境を越えて最高の仲間となった彼らのことばや姿は、未来をはじめる社会へ大きく通じていくものがあるように思える。

『 誰も知らない 世界のことわざ 』（388.8）
エラ・フランシス・サンダース 著　創元社

ようこそ ことわざの世界へ！
どの国も不思議で奇想天外?! 目次を見ているだけでも楽しい気分に！
例えば——
「ガレージにいるタコのような気分」
これって どんな気分でしょう？

『 そろそろからだにいいことを考えてみよう 』
伊藤 まさこ・著　朝日新聞出版（498.5）

からだは 正直。
がタつき始めたら、そろそろ考えませんか。
心が からだに
からだが 心に
おいてけぼりになって
不調に——。
何て、心当りのある方
そろそろです！

『 のっけから失礼します 』
三浦 しをん・著　集英社（914.6）

またまた楽しい しをんワールド。
こんなに暴走して大丈夫？
しをんさんの ご家族も登場で、これまたみんな個性的で濃い面々。
こういうによくある日常のことなのに……。
いっぱい笑って、
いっぱい元気が
もらえるエッセイ!!

『 金剛の塔 』木下昌輝
木下 昌輝・著　徳間書店（913.6）

物語の語り手は
聖徳太子のストラップ!?
五重の塔は 地震で
倒れることがない…
なぜなのか——。
ファンタジーあり、SFあり、人情あり…いろいろな楽しみ方のできる 時代小説です。